



愛眼株式会社

2018年3月期 第2四半期 経営状況報告



2018年3月期 第2四半期 経営状況の報告

P2:[連結]PLの概要

P5:[単体]PLの概要

P6:[単体]主要なPL科目の推移

P7:[単体]事業部別売上構成の推移

P8:[単体]営業利益変化要因別説明図

P9:[単体]主な経費科目の推移

P10:[単体]従業員数推移

P11:[単体]四半期別業績推移

P12:[単体]既存店の月次販売状況

P13:[単体]品種別売上高の月次推移

P14:[連結]BSの概要

P15:[単体]BSの概要

P16:[連結]キャッシュフロー

P17:[連結]設備投資・減価償却・減損損失

P18:[単体]出退店状況



[連結] PLの概要

連結:増収・増益

単位:百万円

	17年3月期 (中間期) 実績	17年3月期 (通期) 実績	18年3月期 (中間期) 実績	前年 同期比	18年3月期 (通期) 計画	前年 同期比
売上高 (売上比)	8,361 (100.0%)	15,957 (100.0%)	8,610 (100.0%)	103.0%	16,659 (100.0%)	104.4%
売上総利益 (売上比)	5,711 (68.3%)	11,003 (69.0%)	5,954 (69.2%)	104.3% (+0.9%)	11,521 (69.2%)	104.7% (+0.2%)
販売管理費 (売上比)	5,677 (67.9%)	11,054 (69.3%)	5,624 (65.3%)	99.1%	11,427 (68.6%)	103.4%
営業利益 (売上比)	33 (0.4%)	△51 (-)	330 (3.8%)	973.1%	94 (0.6%)	—
経常利益 (売上比)	69 (0.8%)	11 (0.1%)	359 (4.2%)	515.7%	177 (1.1%)	—
当期純利益 (売上比)	△215 (-)	△390 (-)	258 (3.0%)	—	68 (0.4%)	—

2018年3月期 第2四半期の経営成績

[連結] PLの概要

売上高:8,610百万円(前年同期比+3.0%増)

売上総利益率:69.2%(前年同期比+0.9ポイント増)

営業経費:

経費コントロールの徹底に努め、営業経費を52百万円圧縮
売上高販管比率を2.6ポイント改善

特別損失:

保有する固定資産について、5百万円の減損損失を計上

営業利益:330百万円(前年同期比+873.1%増)

経常利益:359百万円(前年同期比+415.7%増)

当期純利益:258百万円(前年同期は△215百万円)

1. 眼鏡の売上高は、既存店の客数が前年同期比で増加するとともに、品揃えの拡充により販売単価が改善した結果、前年同期比で増収となりました。
2. サングラス売上は、販促強化に努めたものの、前年同期比で99.0%と若干減少しましたが、補聴器売上は、レンタルサービスとアフターケアが好評を得ており、前年同期比で106.1%と堅調に推移しています。
3. 営業経費は、人件費で増加しましたが、広告宣伝費の効率的な運用など経費コントロールに努めた結果、売上高販管比率は2.6ポイント改善しました。



[単体] PLの概要

単体:増収・増益

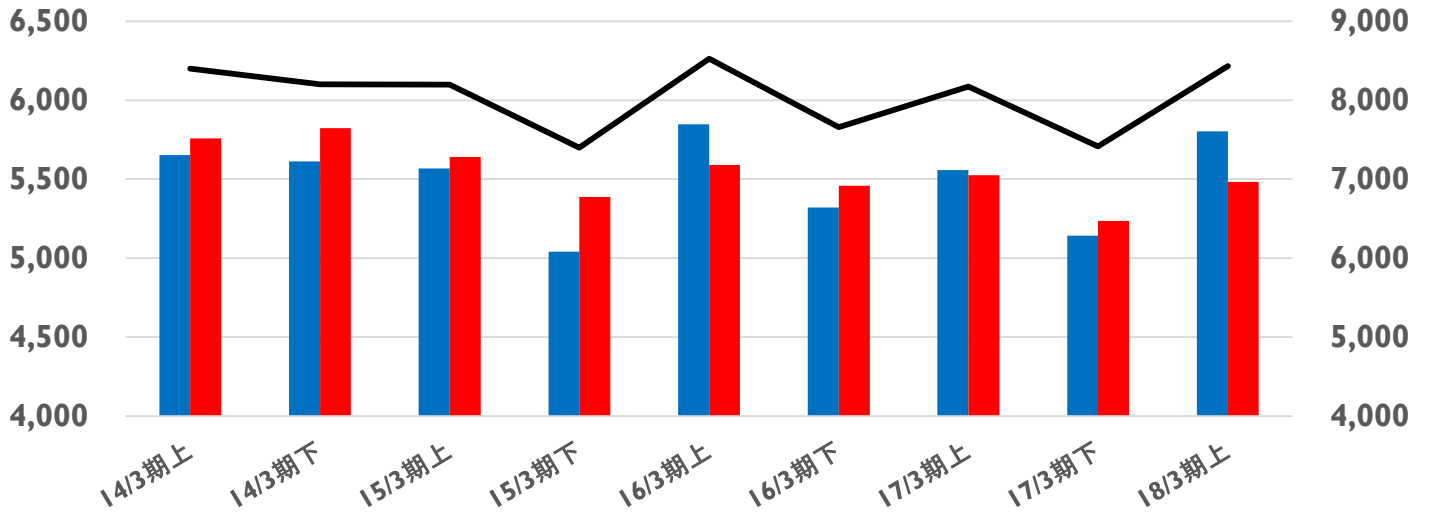
単位:百万円

	17年3月期 (中間期) 実績	17年3月期 (通期) 実績	18年3月期 (中間期) 実績	前年 同期比
売上高 (売上比)	8,173 (100.0%)	15,588 (100.0%)	8,432 (100.0%)	103.2%
売上総利益 (売上比)	5,557 (68.0%)	10,700 (68.6%)	5,803 (68.8%)	104.4% (+0.8%)
販売管理費 (売上比)	5,526 (67.6%)	10,760 (69.0%)	5,483 (65.0%)	99.2%
営業利益 (売上比)	31 (0.4%)	△60 (-)	320 (3.8%)	1025.2%
経常利益 (売上比)	69 (0.8%)	9 (0.1%)	353 (4.2%)	511.3%
当期純利益 (売上比)	△215 (-)	△382 (-)	253 (3.0%)	—

[単体] 主要なPL科目の推移

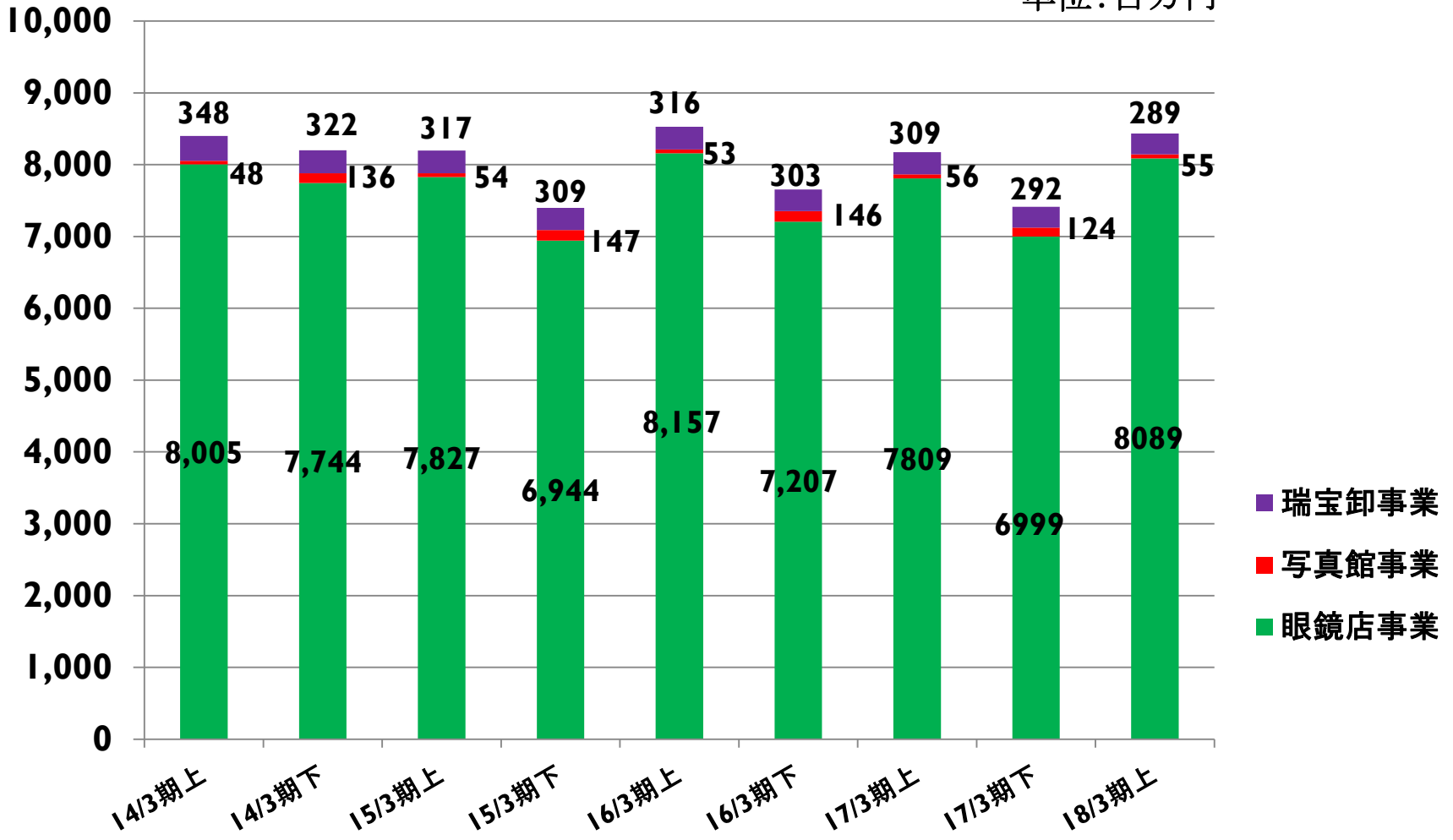
単位:百万円

売上総利益/販管費

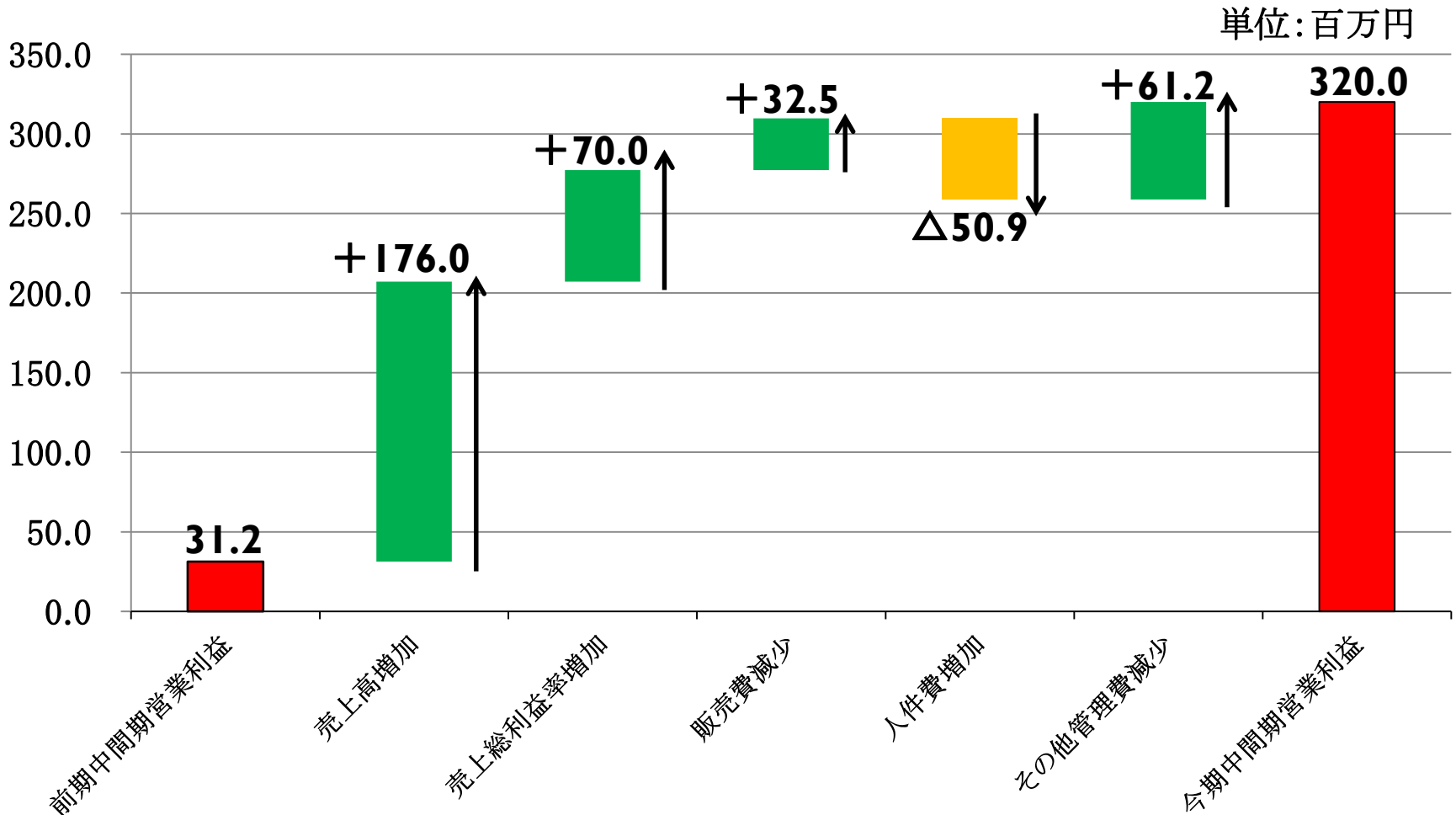


[単体] 事業部別売上構成の推移

単位:百万円



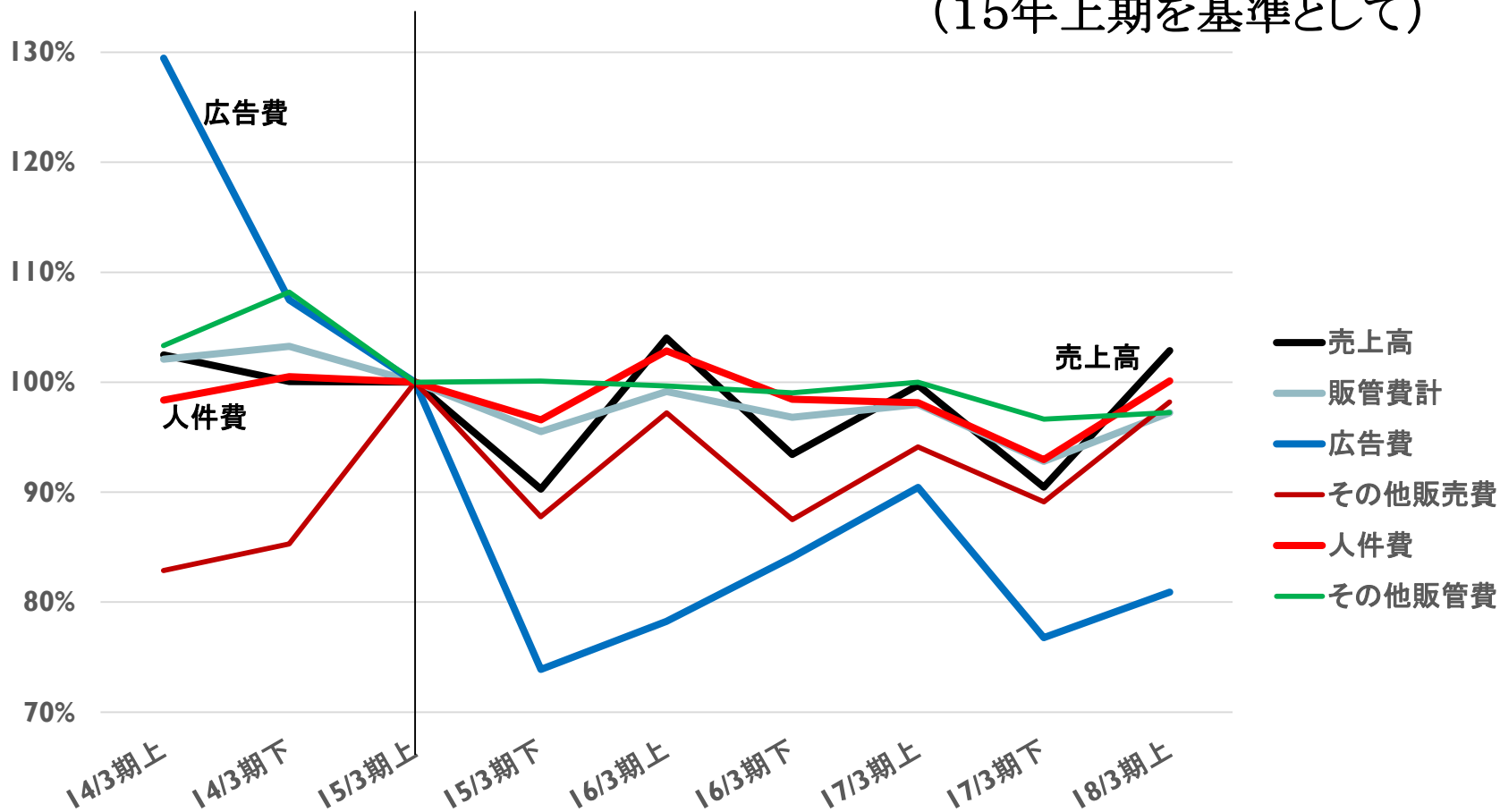
[単体] 中間期における営業利益変化の要因別説明図



◎人件費は前年比で増加しましたが、売上総利益率が0.8ポイント改善し、広告宣伝費の効率的な投入等で売上高の底上げに努めた結果、営業利益は、320百万円と前年の31百万円から288百万円増加しました。

[単体] 主な経費科目の推移

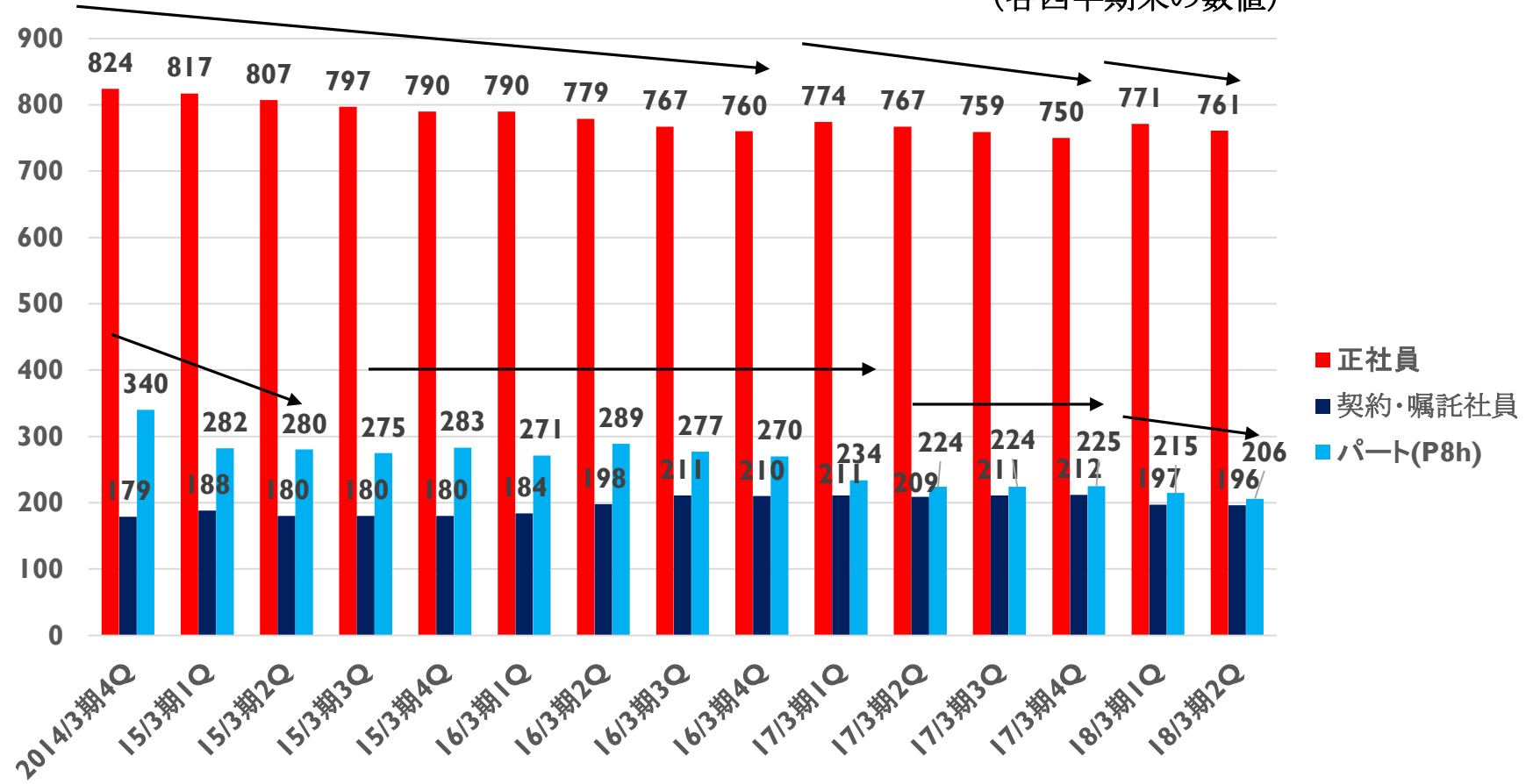
(15年上期を基準として)



◎中期的な販管費の推移の中では、広告費の低減効果が大きい

[単体] 従業員数推移

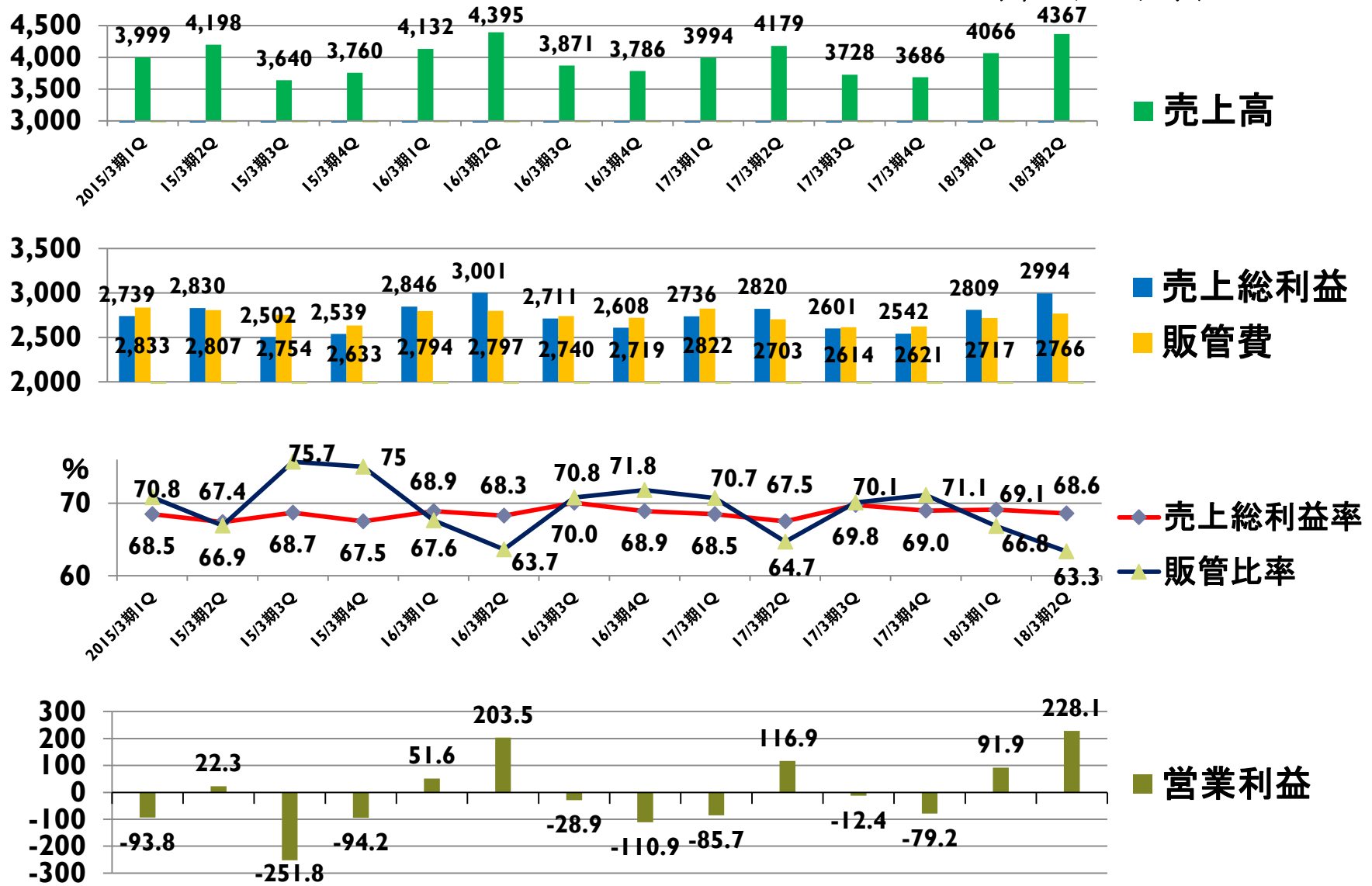
(各四半期末の数値)



◎正社員数は今年度新卒(10名)採用の為若干増
 ◎パート人員数は漸減

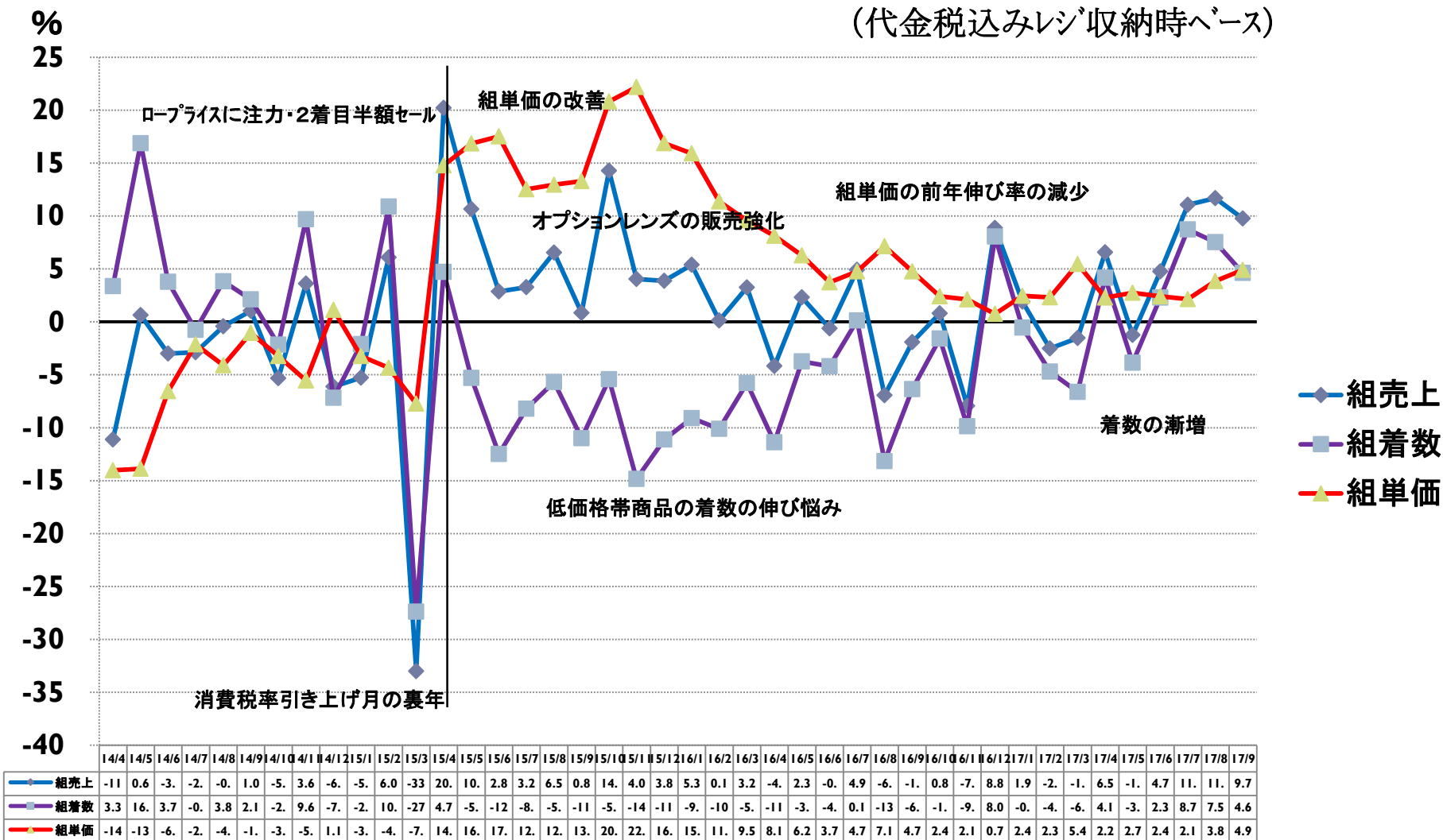
[单体] 四半期別業績推移

単位:百万円、%



[単体] 既存店の月次販売状況 (前年比)

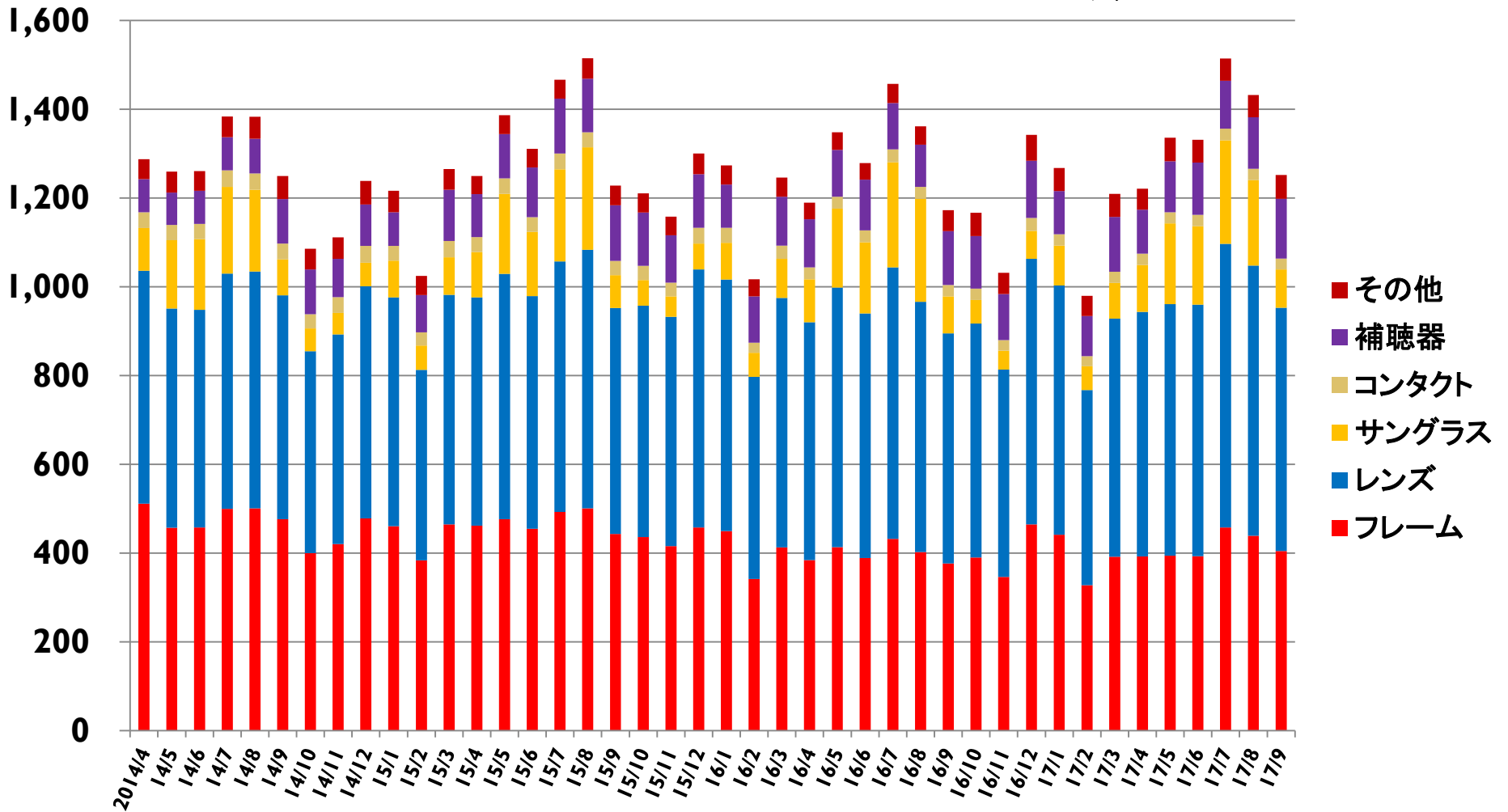
(代金税込みレジ収納時ベース)





[単体] 品種別売上高の月次推移

単位:百万円





[連結] BSの概要

単位:百万円

	17年3月期 実績		18年3月期 (中間期) 実績		比較増減額
		構成比		構成比	
流動資産	8,163	48.7%	8,457	49.5%	+293
現・預金	4,901	29.2%	5,085	29.8%	+183
受取手形・売掛金	753	4.5%	873	5.1%	+120
商品	2,251	13.4%	2,217	13.0%	△34
固定資産	8,609	51.3%	8,622	50.5%	+12
投資有価証券	1,393	8.3%	1,422	8.3%	+29
敷金・保証金	3,468	20.7%	3,387	19.8%	△81
資産合計	16,773	100%	17,080	100%	+306
流動負債	1,979	11.8%	2,064	12.1%	+85
固定負債	802	4.8%	748	4.4%	△53
負債合計	2,781	16.6%	2,813	16.5%	+31
純資産合計	13,991	83.4%	14,266	83.5%	+275
負債・純資産合計	16,773	100%	17,080	100%	+306



[単体] BSの概要

単位:百万円

	17年3月期 実績		18年3月期 (中間期) 実績		比較増減額
		構成比		構成比	
流動資産	7,864	47.2%	8,146	48.1%	+282
現・預金	4,693	28.2%	4,863	28.7%	+169
受取手形・売掛金	740	4.4%	865	5.1%	+125
商品	2,182	13.1%	2,144	12.7%	△37
固定資産	8,790	52.8%	8,803	51.9%	+13
投資有価証券	1,584	9.5%	1,613	9.5%	+29
敷金・保証金	3,373	20.3%	3,292	19.4%	△80
資産合計	16,654	100%	16,950	100%	+295
流動負債	1,925	11.6%	2,003	11.8%	+77
固定負債	783	4.7%	729	4.3%	△53
負債合計	2,709	16.3%	2,733	16.1%	+24
純資産合計	13,945	83.7%	14,217	83.9%	+271
負債・純資産合計	16,654	100%	16,950	100%	+295

〔連結〕 キャッシュフロー

単位:百万円

	17年3月期 (中間期)	18年3月期 (中間期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	194	625	+430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259	△154	+104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127	△285	△157
現金及び現金同等物の期末残高	1,780	2,328	+548

〔キャッシュフローの状況〕

営業活動

税前当期純利益354百万円、売上債権の増加△121百万円、棚卸資産の減少+29百万円、仕入債務の増加+85百万円、賞与引当金+122百万円、減価償却費+78百万円

投資活動

新店・改装・設備などによる有形固定資産の取得△187百万円

財務活動

長期借入金の返済△225百万円、リース債務の返済△60百万円

[連結] 設備投資・減価償却費・減損損失

単位:百万円

	17年3月期 (中間期)	18年3月期 (中間期)	増減額
設備投資額	178	152	△25
システム投資	3	—	△3
減価償却費	105	78	△27
減損損失	232	5	△226

注1)設備投資額は、無形固定資産のリース資産とソフトウェアは含まず。

注2)システム投資は、有形・無形固定資産の増加額の内、店舗のPOS・本社システムなどへの投資額とソフトウェア(無形)の合算

注3)減価償却費は、キャッシュ・フロー計算書上の減価償却費



[単体] 出退店状況 (眼鏡小売事業)

		57期					58期								
		期首	出店	退店	期末		出店	退店	上期		出店	退店	下期計画		年間増減
						増減				増減				増減	
眼鏡小売	インショップ°	154	4	11	147	△7	2	1	148	1	2	4	146	△2	△1
	路面店	99		6	93	△6		1	92	△1		1	91	△1	△2
東部	インショップ°	52	1	4	49	△3			49		1	2	48	△1	△1
	路面店	11		2	9	△2			9				9		
中部	インショップ°	17		2	15	△2	1		16	1	1		17	1	2
	路面店	32		1	31	△1		1	30	△1		1	29	△1	△2
関西	インショップ°	77	3	4	76	△1		1	75	△1		1	74	△1	△2
	路面店	49		2	47	△2			47				47		
四国 中国 九州	インショップ°	8		1	7	△1	1		8	1		1	7	△1	
	路面店	7		1	6	△1			6				6		

店舗: 上期は、国内で2店舗を開設、2店舗を閉鎖し、7店舗で改装を実施

営業戦略について

P20:2018年3月期(58期)の基本方針

P26:商品政策

P33:販売促進政策

P35:補聴器販売

P36:眼鏡卸売事業

P37:写真館事業

P38:海外眼鏡販売事業

P39:店舗政策

P42:2018年3月期(58期)の連結業績計画

2018年3月期(58期)の基本方針

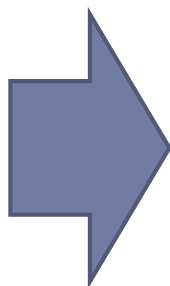
成長軌道のスタート点である黒字化を目指す

集客力アップ

お客様の視点

接客サービス

愛眼ブランド



商品開発・品揃えの拡充

「アイスタイリング・サービス」
の進化・発展

広告宣伝の強化

2018年3月期の重点施策

集客力アップ

1. 価格志向、品質・性能・デザイン性重視などお客様の様々なニーズに即した品揃えの充実に加え、「目の健康」をテーマとした快適で機能的なレンズやフレームなどの高付加価値商品を増強し、お客様の幅広い潜在ニーズの掘り起こしに取り組んでまいります。
2. 接客・サービスのノウハウの基軸とする「アイスタイリング・サービス」を、技術面から売場づくりまで一貫して強化し、「愛眼ブランド」にさらに磨きをかけてまいります。
3. 眼鏡専門店としての優位性を「愛眼ブランド」として、様々な広告媒体や売場を通じて広くアピールしてまいります。

アイスタイリング サービス

お客様の嗜好、ライフスタイルに合った最適な商品の提案を目指す「アイスタイリング・サービス」を主軸にして、愛眼ブランドの強化に取り組んでいます。



アイスタイリング サービス

◆おもてなし部

お客様に自信をもってアピールできる人材育成を目指し、専門スタッフが質の高い視力補正と接客を教育しています。

◆愛眼マイスター

会社全体で技術力・知識力・接客力の向上をはかるため、独自の社内検定を実施しています。



メガネの「プロ」として、メガネの専門店として、最適な商品・サービスを提供

フレーム・レンズ一体価格

スマートプライス

- ・明瞭で安心な価格表示
- ・お買い得な価格設定



『最も薄い』非球面プラスチックレンズでも
『超薄型内面累進遠近両用レンズ』でも

超薄型レンズ付。
遠近両用もOK!

追加料金は不要です。*一部商品・セットコーナーは除きます。レンズカラーなどのオプションは別料金になります。

スマートプライス

■追加料金なしで選べるレンズ

単焦点プラスチックレンズ	UVカット／無色／汚れ防止・撥水コート／マルチコート
遠近両用プラスチックレンズ	UVカット／無色／汚れ防止・撥水コート／マルチコート
中近・近近プラスチックレンズ	UVカット／無色／汚れ防止・撥水コート／マルチコート
単焦点ガラスレンズ	無色／マルチコート

オプション(二例)

■スポーツオプション

偏光レンズ	AG Polar Sun Lens UVカット／偏光度99%／裏面マルチ 【屈折率】1.60SP		税込 +10,800円
-------	---	--	-----------------------

■特別仕様オプション

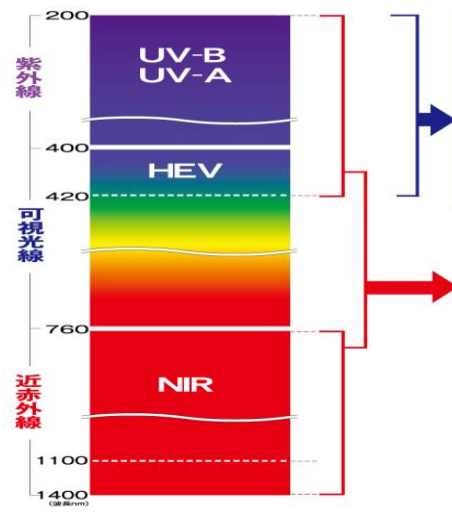
両面非球面	レンズのすみずみまで歪みやボヤケが少なく、快適でクリアな視界。 UVカット／無色／汚れ防止・撥水コート／マルチコート 【屈折率】1.60WAS／1.67WAS／1.76WAS		税込 +10,800円
-------	---	--	-----------------------



眼は、
ハダカだ。

アイガン UV420 を選ぼう。
目も対策メガネレンズ

紫外線	HEV
約100%カット	約94%カット
近赤外線	ブルーライト
約70%カット	約40%カット



UV420
Aigan

紫外線 約100%カット
HEV 約94%カット
ブルーライト 約40%カット

【アイガンUV420】
※光の波長380〜500nmでの平均カット率。準JIS T 733:2005基準では約20%カット。

UV420
Aigan

紫外線 約100%カット
HEV 約94%カット
近赤外線 カット率がさらにUP! 約70%カット
ブルーライト 約40%カット

【アイガンUV420+美肌】
※光の波長380〜500nmでの平均カット率。準JIS T 733:2005基準では約20%カット。

アイガンUV420 レンズオプション

UV420カットサングラス



レンズのオーダー時にオプションで アイガン UV420 に変更可能

オプション価格 **+5,400円** (税込)
<2枚1組> 無色のレンズ



12,960円 (税込)

2018年3月期の商品政策

①オリジナル商品の展開

ポコブ

「より軽く、よりしなやかに」幅広い年代から支持されています



ポコブ ルージュ

「女性人気 No1」バリエーション豊富に、Newカラーも投入



①オリジナル商品の展開 (つづき)

ポコブ ビンテージ

人気のクラシックデザインも「より軽く、よりしなやかに」



【参考】POCOPシリーズの販売本数比率の推移

2017年4月～2017年9月	15.0%
2016年4月～2017年3月	12.0%
2015年4月～2016年3月	10.5%
2014年4月～2015年3月	7.9%

①オリジナル商品の展開 (つづき)

クラウディア・フォレスト 「自分らしさ」や「若返り」 婦人向けメガネの新提案



コホロ

「流行」と「馴染みやすさ」をミックスし人気商品に成長



①オリジナル商品の展開 (つづき)

スマートフィット

アイガン品質の国産チタンメガネを続々投入。



流行とは別軸で・・・

- ・キッズからシニアまで各年代に合わせた豊富なラインナップ。
- ・工場独自のチタン接合技術で非常に高い耐久性と軽さ。
- ・メーカーとの共同で最高峰の国産フレームをリーズナブルに。

②有害光線対策の提案

■レンズオプションでの提案

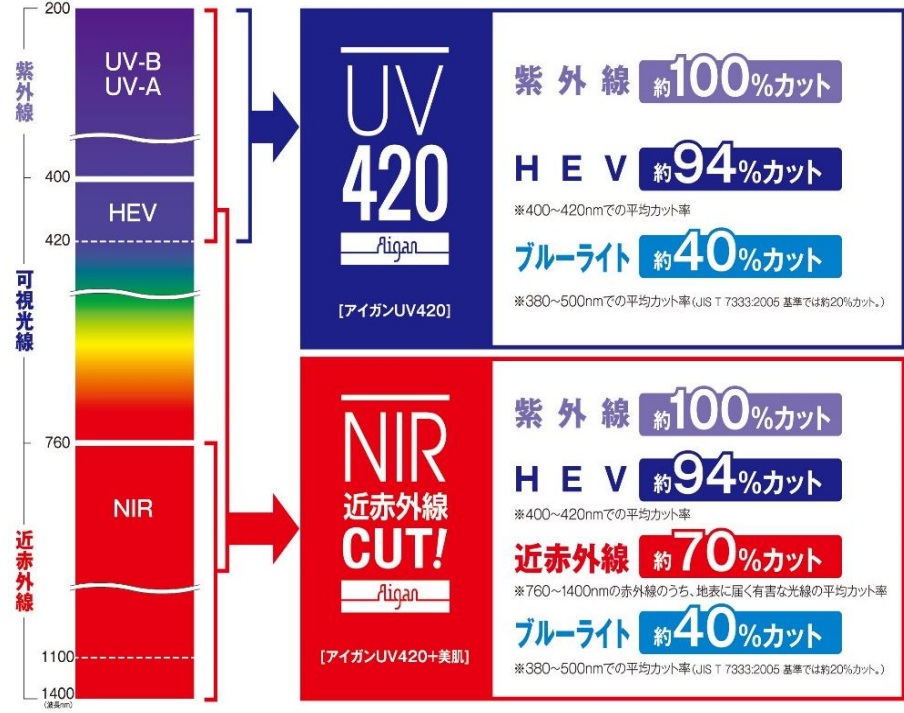
紫外線(UV)やブルーライトに加え、眼病の原因とされる高エネルギー可視光線(HEV)をカットする「アイガンUV420」と、老化につながると話題の近赤外線(NIR)をカットする機能をさらに加えた「アイガンUV420+美肌」を提案。



眼は、
ハダカだ。

アイガン UV420 を選ぼう。
目もと対策メガネレンズ

＼カット!／		
紫外線	HEV	
100%	約94%	
近赤外線	ブルーライト	
約70%	約40%*	



②有害光線対策の提案 (つづき)

■既製品での提案

紫外線 (UV) やブルーライトに加え、眼病の原因とされる高エネルギー可視光線 (HEV) をカットする「アイガンUV420サングラス」と、老化につながると話題の近赤外線 (NIR) をカットする機能をさらに加えた「アイガンUV420+美肌サングラス」を提案。

UV420 CUT SUNGLASSES

HEVは「眼の老化」に影響するとされています。

UVカット+HEVカット
サングラス

UV-B / UV-A
HEV

UV 420 Aigan

UVカットに加えてHEVも
約94%カット!

※HEV: High Energy Violet-light (紫外線に近い強力な可視光線)。HEVは眼の老化を招く眼内黄斑部の色素「ルテイン」を劣化させるとされています。



新発想! スキンケアできるサングラス。

UV420 & NIR CUT SUNGLASSES

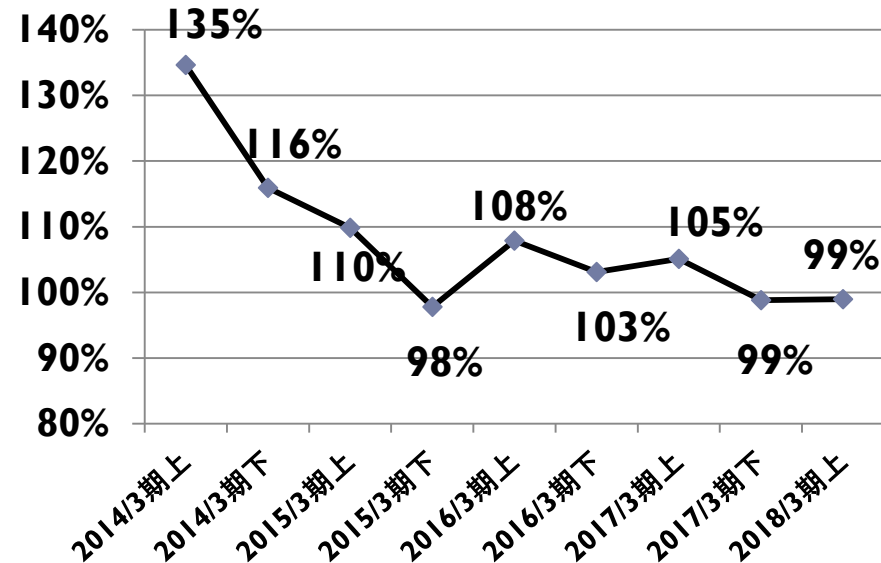


③サングラスの販売の強化

■プライベートブランドサングラスの充実



サングラス実績の前年同期比推移



■サングラスの売上高は若干減少



2018年3月期の販売促進政策

TVコマーシャル

アイガンUV420に加え、UV420カットサングラス、セール告知のCM素材を適時展開



眼は、
ハダカだ。

アイガンUV420を選ぼう。
目もと対策メガネレンズ

＼カット!／		UV 420 Aigan
紫外線	HEV	
100%	約94%	
近赤外線	ブルーライト	
約70%	約40%	

BIG SUMMER
ビッグサマー「バーゲン」セール

SALE

メガネ **30% OFF**

サングラス **50% OFF**

アイガンの UV420
近赤外線 NIR CUT!

すごい! サングラス

アイガンUV420+美肌 目の健康・目元の美容対策

トリプルブロック
眼と目元に有害な3つの光線をカット!

紫外線	近赤外線	ブルーライト
約100% カット	約50% カット	約40% カット

イベント企画

地域振興イベントへの参加。視力チェックや物販イベントで地域に根ざした告知活動を実施



セール企画

TVCM・ラジオCM・各種WEB・電車広告・チラシ・DM等の媒体をミックスして大々的に告知を実施。

◎6/16～8/20 ビッグサマーセール



店頭主体の短期間のセール。チラシ・DMで既存の顧客様への告知を実施。

◎9/15～10/1 秋の売り尽くしセール



Tポイント

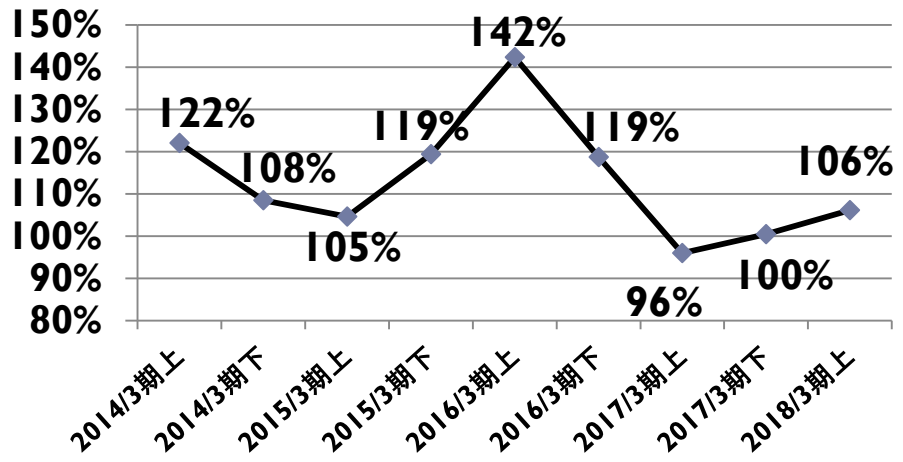
◎メガネ・サングラス・補聴器など全商品が対象



補聴器販売

シニア層への対応強化

補聴器実績の前年同期比推移



■ 補聴器の売上高は堅調に推移



メガネの愛眼の補聴器で、聞こえる楽しさを!

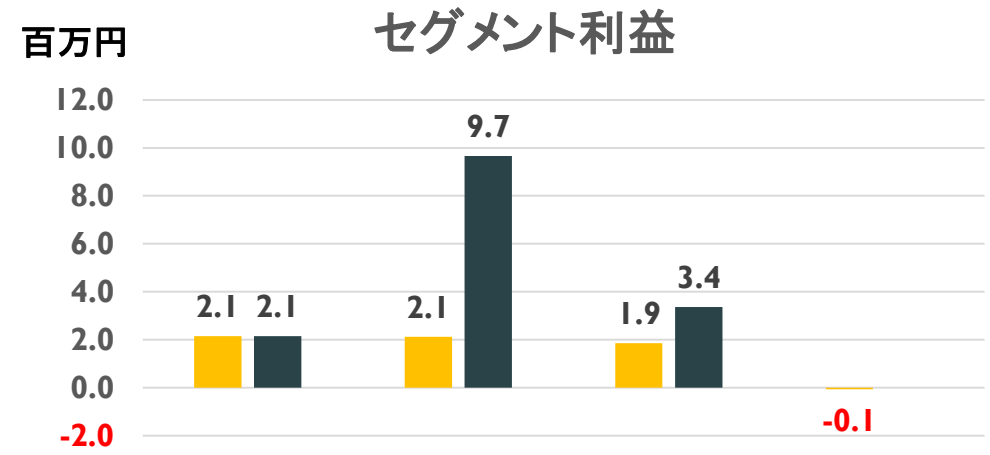
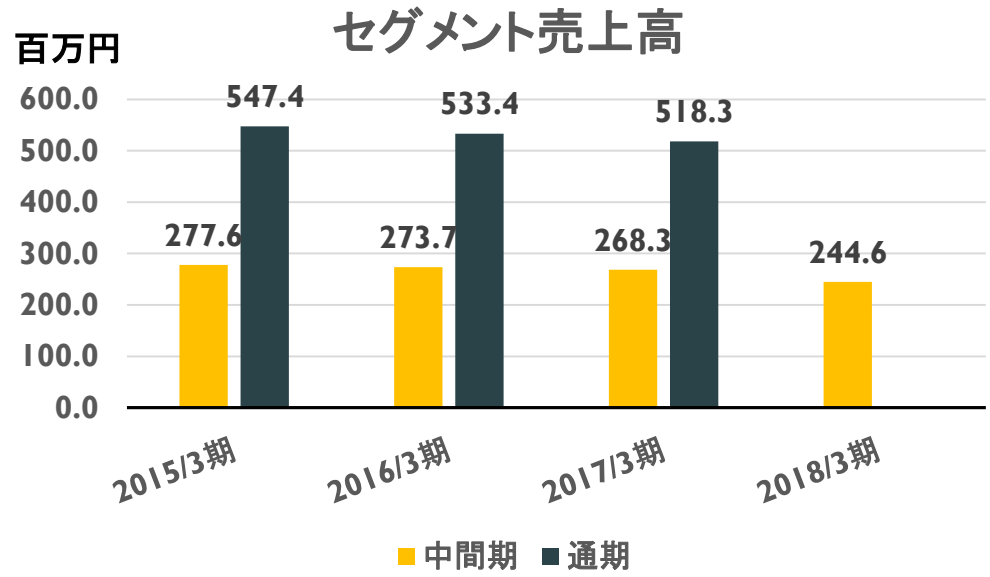


補聴器 お試し レンタル

2週間両耳お試しで3,000円

眼鏡卸売事業

・得意先小売店に対する販売支援を通じた業績向上のバックアップに努めるとともに、新規得意先の開拓に鋭意取り組んでおります。



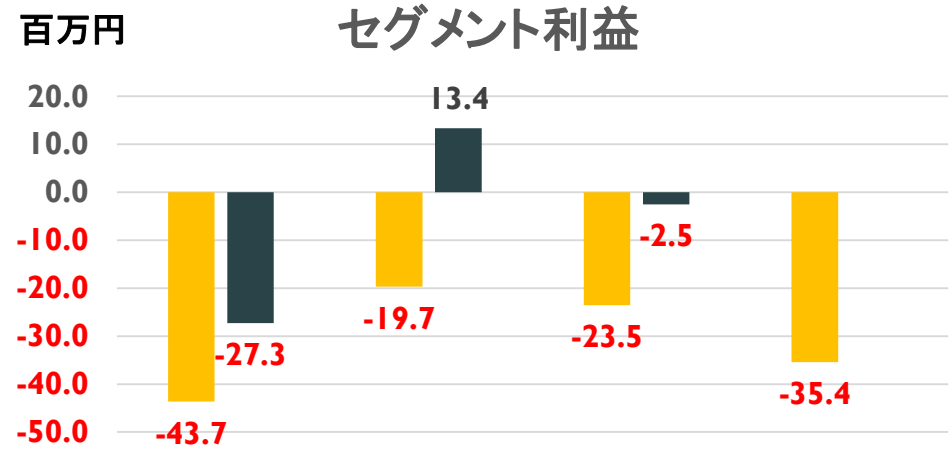
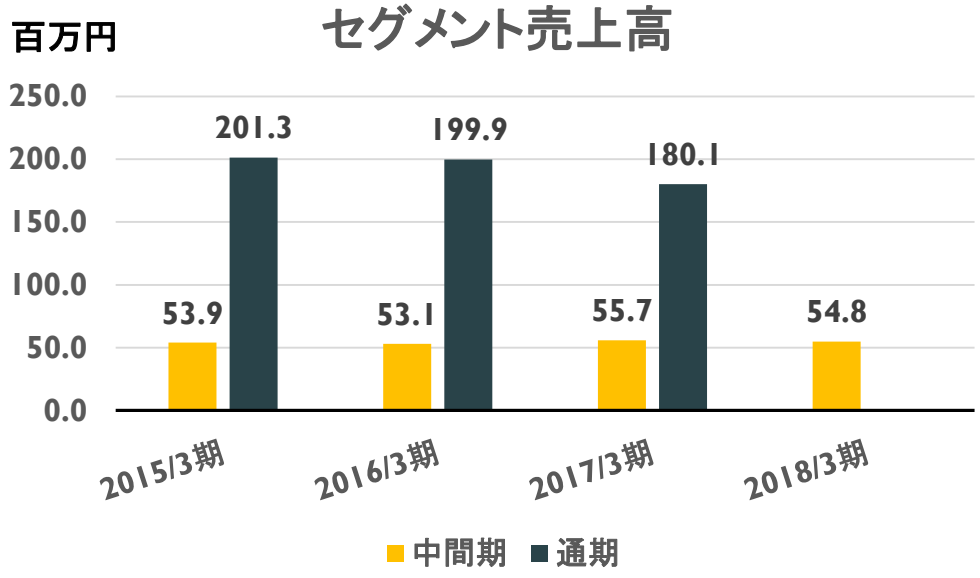
写真館事業



2017年5月改装
愛写館 横浜本店



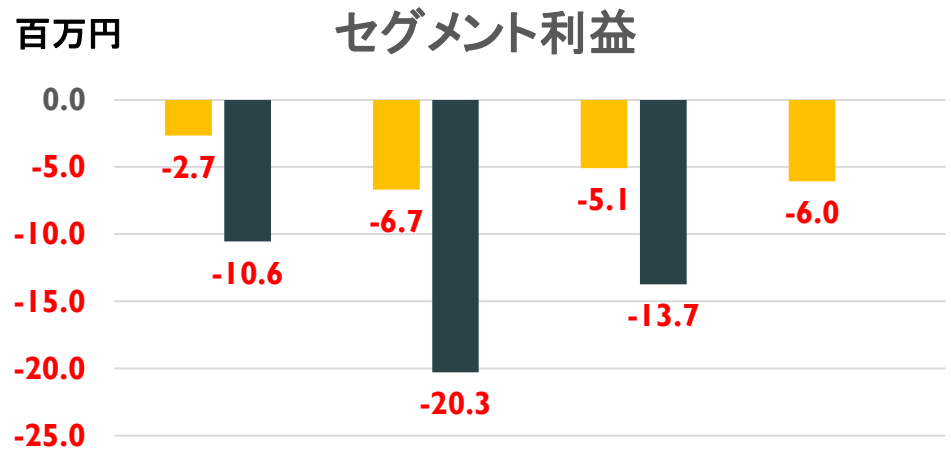
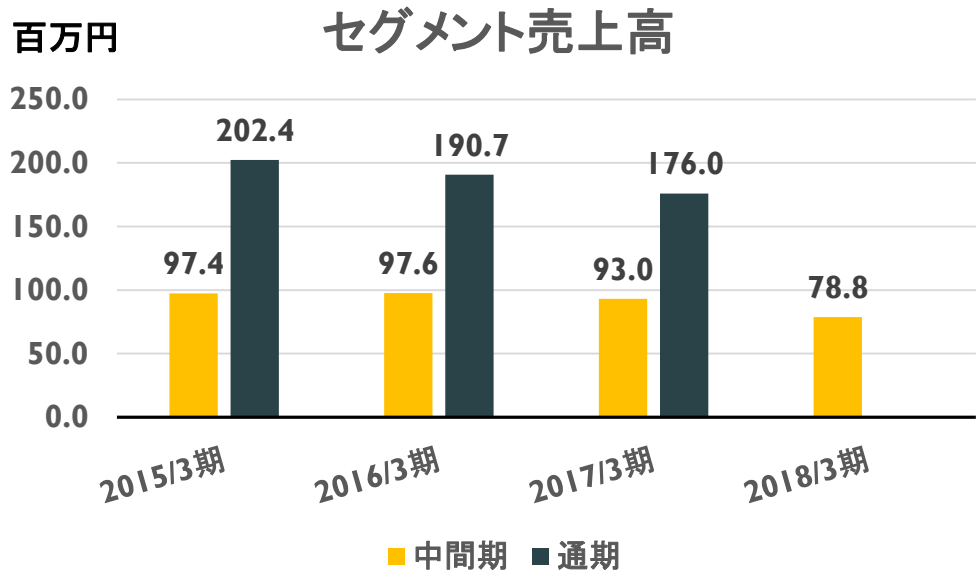
・競争の激化により厳しい状況が続いておりますが、今年度5月に愛写館横浜本店の改装を実施するとともに、外販活動を強化するなど売上向上策に取り組んでおります。



・写真館事業の売上計上は、七五三、成人式、卒業式など年間の主要なイベントが下半期に偏るため、利益計上も下半期に偏る傾向があります。また、今期中間期は、横浜本店の改装を実施したため、販管費が増加しました。

海外眼鏡販売事業

- 北京愛眼眼鏡有限公司が、北京市を拠点として眼鏡小売事業と眼鏡卸売事業を展開
- 経営環境が引き続き厳しい状況にあるなか、商品ラインナップの拡充等に取り組み、採算の改善に努めておりますが、店舗数の減少もあり減収となりました。



2018年3月期の店舗政策

1. 新店:4店舗 (上期:2店舗:下期:2店舗)
2. 改装:出店するショッピングセンターの補強・活性化に伴う
改装と既存店の活性化 18店舗(上期:8店舗、下期:10店舗)
3. 閉店:7店舗 (上期:2店舗、下期:5店舗)

2018年3月期の新店・改装

2017年6月改装
ヨドバシ横浜店



2017年4月新店
イオンモール徳島店



2017年9月新店
イオンスタイル豊田店



2018年3月期の新店・改装

2017年11月 新店
SYZプライムツリー赤池店



2017年10月 改装
ヨドバシ梅田店



2017年10月 改装
SYZ東戸塚店



2018年3月期の連結業績計画

2017年5月12日に公表した業績予想

	2017年3月期実績		2018年3月期計画		前期比
	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
売上高	15,957	100.0	16,659	100.0	+701
売上総利益	11,003	69.0	11,521	69.2	+518
販売費及び一般管理費	11,054	69.3	11,427	68.6	+372
営業利益	△51	—	94	0.6	+145
経常利益	11	0.1	177	1.1	+166
当期純利益	△390	—	68	0.4	+459